

「私を育ててくれた日本」

中部学院大学短期大学部社会福祉学科2年

レー ティー トー チャン

私が高校生だった頃、「いずれ海外に行ってみたい、何か新しいことに挑戦してみたい」という夢がありました。でも、海外といってもどこに行けば本当に有意義な留学生活が送れるのかわからず、正直悩んでいました。

周りの友人はフランスやアメリカ、オーストラリアなどへの留学を考える人もいました。確かに英語圏の国に行けば英語も上達するし、先進国であればいろいろなことを学べるはずだと私も思いました。しかし、ベトナム国内でも英語で授業を受けられる大学があるので、英語圏の国に行かなくてもほぼ同じような教育が受けられるのではないかと考え直しました。

いろいろ将来について悩みましたが、私は日本語を学ぶため、そして介護の勉強をするために日本への留学という道を選びました。

日本の学校で学生として学び、そして日本で働いてキャリアを積むことで日本の社会に貢献したいと、いつしかそんな夢（目標）を持ちました。

日本にはすでに友人がいましたが、もっと多くの人と出会い、交流したい、自分は微力かもしれないが、日本の社会に貢献したいと思いました。日本で出会う人々と大切な関係を築き、素晴らしい経験をしたと思いました。日本に留学することで、その実現に一步近づくことができると確信しました。

私は日本に留学して3年が経ちました。この3年間で私は強くなりました。ベトナムにいた頃は、いつも両親の腕の中で甘えていた子どもでした。しかし、留学してからこれまでの間、たくさんの日本人に助けてもらい、教えてもらい、学校でそして社会の中で成長することができました。そして自分に自信を持つことができました。私をここまで育ててくれた「日本」に感謝しています。ありがとうございました。

これからも困難なことがあるかもしれませんが克服して、自分で選択した道に最善を尽くして頑張りたいと思います。